

# 元気

## まち物語

2013.4



### 金子みすゞ・雅輔の会

金子みすゞの世界

「みんなちがってみんないい」。  
この詩に聞き覚えはありませんか。  
金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」  
の有名な一節です。

下関を代表する童謡詩人・金子  
みすゞと、その弟で劇団「若草創  
設、作詞家・作曲家である上山雅  
輔。二人を顕彰しているのが「金  
子みすゞ・雅輔の会」の皆さんです。

### みすゞと雅輔に魅せられて

会は平成18年6月に発足、会員  
は87人です。みすゞの作品を収集  
していた方が、平成11年から旧秋  
田商会ビル(下関観光情報セン  
ター)で常設展示を始めたことか  
ら、会へと発展しました。後に会  
員の石川さんが収集していた雅輔  
のレコードも一緒に展示し始め、  
現在は「金子みすゞ 上山雅輔姉  
弟のへや」として二人の作品など  
を紹介しています。

活動は、展示の入れ替えや命日  
に行う催し、観光案内の他、現在  
は長門市・下関市が共同で「みすゞ  
交流プロジェクト」を行っていま  
す。両市の観光ボランティアが交  
流会を開き、ガイドの質を高める  
などして交流を深めています。

### 詩が生まれたまち・下関

3月10日のみすゞの命日に献花  
と朗読会が行われました。訪れた  
人々は、詩「日の光」が刻まれた石  
碑(カラトピア横)の前に花を添え  
てみすゞをしのびました。巨大絵  
本を使った朗読会では、小学生が  
元気いっぱい10編のみすゞの詩を

読み、「やさしい気持ちが伝わっ  
た」など、それぞれに何かを感じ  
たようです。

「詩が生まれたまちを誇りに思  
い、若い世代にも希望を持ってほ  
しい」と情熱を持って話してくれ  
たのは、会長の島村涼華さんです。  
実は、みすゞが書いた512編もの詩  
は全て下関の唐戸近辺で書かれた  
もので、下関が当時、創作意欲を  
かき立てられる街だったことがう  
かがえます。「唐戸にもう一度そ  
の活気を」との思いから、みすゞの  
魅力を伝えるべく活動しています。  
「詩からだけでなく、みすゞ自  
身の生き方から学ぶこと、考えさ  
せられることがたくさんある」と  
島村さん。みすゞの思いを継ぐ会  
員の力が、下関に広がります。

★一緒に活動しませんか★  
印事務局 ☎090-9460-8525(E)

- ①朗読会で「私と小鳥と鈴と」を朗読する兄妹。
- ②北九州市の語り部の会から譲り受けた巨大絵本。量4畳分の大きさです!
- ③「日の光」の石碑の横で献花をする会長の島村さん。
- ④朗読をした小学生と会の皆さん。上段左から2番目が石川さん。
- ⑤旧秋田商会ビルの「金子みすゞ 雅輔姉弟のへや」
- ⑥唐戸商店街内の「商品館」にも、みすゞと雅輔の資料があります。

